



沖縄県立看護大学

Okinawa Prefectural College of Nursing

2014年度版 大学案内



Contents

学長あいさつ	1
大学の理念	2
新カリキュラム教育課程の編成	3
新カリキュラムにともなう新設科目	4
沖縄県立看護大学の特色ある科目	5
教育科目の年次配置	6
資格取得要件と国家試験合格率	7
在学生からのメッセージ	8
卒業生からのメッセージ	9
入試概要	10
大学院	
Q & A	14
教育研究分野・領域の概要	15
大学院生の紹介	16
別科助産専攻	17
平成26年度行事	18
学習環境	20
地域連携・国際交流	21
スキルラボ室	22
実習施設	23
沿革、教員一覧	24

沖縄県立看護大学の歌

作詞 新城 正紀
作曲 林 達郎

一、人々の生命の尊さ大切に
人のやさしさにふれあえば
看護の知識 学びは深く
友と語りて 師に励まされ
豊かな心で 看護を学ぶ
我らが 沖縄県立看護大学

二、地球に生きる生命を大切に
病める人々の 声を聞く
珊瑚の海越え 愛しみ広げ
世界に飛び立つ 大志を抱け
広き視野もて 看護を学ぶ
我らが 沖縄県立看護大学

三、おだやかな 陽ざしあふれる 校舎は
そよ風吹きて 木々ゆらす
色とりどりの 花の癒し
小鳥のさえずりに 日々励まされ
希望を胸に 看護を学ぶ
我らが 沖縄県立看護大学



学章について

人間が人間を支えてい
く人材を世に送り出す看護大学
としてのイメージをNURS I
NG（看護）の英文頭文字のN
の文字によって人体をデザイン
化し、シンボライズしました。

学長あいさつ

沖縄県立看護大学学長 前田 和子

沖縄県は日本の最南端に位置し、広大な海域の中に人々が暮らしている大小さまざまな島が40も点在しています。沖縄県立看護大学の使命は、どんなに小さい離島や僻地であっても、そこに住む人々が、それぞれにとって最善の健康を増進、維持、回復できるように支援する自立した看護職者を育成することです。



平成26年3月現在、日本の看護系大学の数は209校となりました。また、法律が改正されて大学での保健師教育課程のあり方を各大学が選べるようになりましたが、本学は従来通り、4年間で入学者全員が看護師と保健師両方の国家試験受験資格を得られるカリキュラムを提供します。地域特性から沖縄県には両方の資格をもった視野の広い看護職者が必要であり、その養成は県立大学である本学の責務だと信じるからです。学部の助産師教育は選択制ですが、別科助産専攻も加えると毎年30名の助産師を育成しており、本県の助産師不足解消に貢献しています。教育の成果を上げるために平成23年度よりカリキュラムを抜本的に変更し、少人数教育やゼミナールなどこれまで以上に学生の自主性を尊重した教育方法の改善も進めています。

現在、看護系大学の147校(70%)に大学院修士課程が、71校(34%)に博士課程が設置されています。本学も平成16年度に大学院(博士前期課程と博士後期課程)を開設し、看護の実務家リーダー、教育者、研究者の教育に努めています。5分野(がん看護、精神看護、慢性看護、老人看護、小児看護)の専門看護師も養成しています。また、平成23年度より先端保健看護分野に島嶼保健看護領域を追加し、本学の果たすべき使命に向かって大学院も着実に歩を進めています。

県民の期待に応えるために、本学はさらに進化し、地域の特性を活かし、国際的にも通用するケアのできる看護実践者や保健看護上の問題を自立して解決できる教育・研究者を目指す方々を求めています。

沖縄県立看護大学の必要性

沖縄県の戦後の看護婦養成は1946年に米国の指導によって開始され、質の高い看護サービスを提供し、また、保健医療サービスの恩恵の少ない離島・僻地を含めた県民の健康確保のために本県独自の制度として、保健婦駐在制度のような保健医療サービス体制を確立するなど、全国的に高い評価を受けてきました。

本県では人口の高齢化や肥満、島嶼(とうしょ)性等から生ずる諸問題も多く、県民が安心して暮らせるための在宅看護や地域看護体制の確立等、研究を要する課題も多くあります。

このようなことから、地域保健看護に従事する保健師等の人材育成に大きな期待が寄せられており、従来にも増して地域の課題を解決する為の企画力、指導力、多種にわたる関係職種と有機的に連携しながら効果的な看護活動を展開するための調整能力等が求められています。

その人材育成に当たって、本学は県民性、地域性等特有な文化の理解の上で、地域のニーズを反映した教育を担っていきます。



大学の理念

大学の使命

本学の使命は、沖縄の地理・歴史・文化、看護を取り巻く今日的状況および社会的要請、また、グローバル時代における人々の健康上のニーズおよび学生・院生の学習上のニーズを踏まえて、看護を科学的に実践できる質の高い人材を育成することです。すなわち、保健医療福祉の分野において県民の期待に応えうる、質の高い看護職者の育成を図り、同時に看護の教育、研究および実践の中核的機関として看護実践および学術的發展に寄与することです。

大学の教育理念・目標

【教育理念】

本学の教育は、設置の趣旨に基づき、生命の尊厳を重視し豊かな人間性を養い、多様化・国際化の進む社会で幅広い視野を持ち、看護を科学的に実践できる看護職者を育成し、人々の健康と福祉への貢献をめざす。

【教育目標】

1. 生命の尊厳を尊重する倫理観を備えた豊かな人間性を養う。
2. 幅広く学問を学び、知性と感性を高め、創造力を養う。
3. 看護の専門職に必要な知識・技術・態度を修得し、科学的な根拠に基づく判断と問題解決の能力を養う。
4. 保健・医療・福祉の概念を共有し、関係職種との連携の中で専門職者としての看護の役割を担うことのできる能力を養う。
5. 自己の看護実践を振り返るリフレクション能力と生涯学習能力を養う。
6. 人間のおかれた地理的文化的特性を理解し、地域に根ざした保健看護活動ができる能力を養うとともに、国際的視野で保健看護活動ができる能力を養う。
7. 研究的態度を身につけ、保健看護活動をとおして看護の発展に寄与する能力を養う。

アドミッションポリシー

本学の教育理念と目標の達成と実現に向けて、次のような資質と能力、意欲を持った学生を求めています。

1. 人の生命と健康に関心を持ち、看護職者として社会に貢献したいと意欲を持った方
2. 幅広く学問を学ぶ能力を持ち、主体的に学習する習慣を身に付けた方
3. 離島・過疎地域医療を含めた沖縄の看護に関心を持つ方
4. 異なる文化に関心を持ち、国際的な視野で看護を学ぶ意欲を持った方
5. 本学の教育方針に従い、規則を遵守し、学業に専念できる方

新カリキュラム教育課程の編成

専門関連科目

統合科目

統合科目は、看護職者として倫理観を持ち、自らを律し、他者と連携し専門職者として看護の役割を担う能力を養うための科目群である。また、統合的な学習経験と創造的思考により質の高い看護を実践する能力を身につける。そして、看護職者として社会的責任を果たすために、生涯学習能力を養う。

生涯発達看護科目

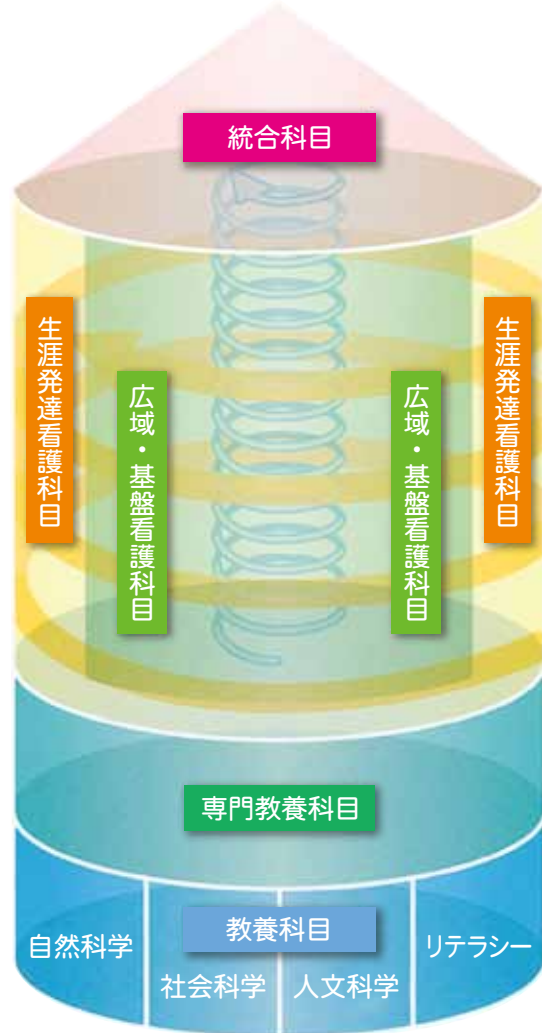
生涯発達看護科目は、一人の人間が生を受けてから死ぬまでの生涯にわたる各発達段階、すなわち周産期、小児期、成人期、老年期の各期にある対象の特徴に応じて、家族も含めて適切な看護を実践する能力を養う科目群である。

広域・基盤看護科目

広域・基盤看護科目は、看護実践の基礎として、またあらゆる発達段階の人々の看護に共通して必要な知識・技術・態度を学ぶ科目群である。また、多様な生活や治療・療養の場における多様な対象者に健康へのアプローチを、身体的・精神的・社会的な側面から看護を実践する能力を培う。また、家族・集団を加えたコミュニティの特徴を学び、場と対象に応じた看護を実践する能力を培う。

専門教養科目

専門教養科目は、保健看護をより広く、科学的に学習していく準備として習得せねばならない科目群から構成されている。これらの科目は看護学周辺領域の学問、すなわち医学、保健学、社会学、心理学、リハビリテーション等の基礎的知識や技術であり、人間の健康を身体的・精神的・社会的な側面から多面的に捉え、科学的根拠に基づく判断力を養う科目群である。また、地域社会における健康を論理的に思考するために活用される知識・技術も学習する。



教養科目

教養科目は、広く人間を理解する科目、自然現象を理解する科目、社会のしくみを理解する科目、及び生命の尊厳を尊重する科目で構成され、幅広く学問を学ぶことにより、社会に求められる市民にふさわしい知性と感性を高め創造力を養う科目群である。また、沖縄の歴史、文化、芸能などを通して人間のおかれた地理的文化的特性を理解するとともに、情報化社会や国際社会に対応できるように学際的学びの基礎をつくる。

早期体験実習

看護実践の場または地域において、看護職者の仕事を観察し、自由に対話する中から、また看護を必要としている人々やその他の医療従事者・関連職種との対話から、さらに学生同士の討論や役割モデルとなる看護職者の口演などを通して、看護という職業の意義や社会における期待、必要性、そして今後の職業的準備のあり方について学習する。



ウィメンズヘルスサイエンス

3年次後期に開講している科目で、助産師国家試験受験に必要な科目の1つに位置づけられ、助産師を目指す学生や女性の健康に興味のある学生が科目をとることができる。講義の内容は、女性の体の仕組みからはじまり、妊娠・出産の時期にある成人女性、思春期から中高年の女性に起こりやすい健康問題、月経の異常、性感染症、不妊症、更年期障害、ドメスティックバイオレンスなど幅広く学習する。助産の専任教員と産婦人科医（非常勤講師）が講義を担当している。よくある患者さんの事例を通して病気・検査を学び、患者さんへの対応・説明の実施や、また、若者対象の性教育の模擬授業など、参加・実践型の講義である。

ヘルスアセスメント

個人の健康状態を全人的に理解するために必要なヘルスアセスメントの概念と枠組みを学ぶ。さらにフィジカルアセスメントに焦点をあて、フィジカルアセスメントに関する基本的な知識、技術と態度を学ぶとともに、ライフサイクル各期に特有の方法と留意点についても演習を通して具体的に学ぶ。



専門看護職論Ⅰ

大学で看護学を学ぶ意味について考え、沖縄の看護の歴史と、本学の建学の精神、教育理念、教育目標を理解する。さらに、看護の歴史と専門職看護の概念と現状を概観し、人々の健康を守る社会活動の中の看護職の役割と関連他職種との協働・連携について学ぶ。



地域連携パスのイメージ

島嶼保健看護

島嶼の人々を、その背景となる地理、歴史、文化、経済 およびそこから培われた生活をとおして総合的に理解し、これまで学んできた健康の概念と人々の生活との関連性および島嶼における疫学的動向と対策の理解を深め、また健康の全ての段階において保健医療福祉が連携によって果たす役割と看護支援のあり方について理解する。



国際保健看護

国際的視野から諸外国の地理的環境、歴史、文化、経済、医療政策、疫学的動向と対策、保健看護事情と、人々の生活を理解し、日本国内に在住する外国人の背景と現状を理解する。それらから健康に影響を与える要因および保健医療福祉が果たす役割について考察できる。



沖縄の生活と文化

世界における「文化の多様性」の基本的理解の上に、沖縄に暮らす個人ならびに共同体がもつ強みと弱みをグローバルな視点からとらえられるように、沖縄の「歴史や文化」と現代社会において沖縄の人々の生活を支える「地域の社会心理的特性」との関わりについて学習する。



看護大学ゼミナールⅢ



3年次の学生は、過去の実習を通して気になったことや困ったことを振り返り、課題を見つけ、患者の安全・安楽に繋がるモノや、実習であったら便利だと思えるモノ等の看護用具を工夫・改善していく。その学習プロセスを通して、課題を克服する能力を獲得していく。

今年の成果物として、病室やトイレの色・音・匂いの環境改善、リハビリ効果の得られる衣服の作成、身体抑制しないための点滴等の工夫、健康教育のための手帳・ビデオの作成、会話困難な患者とのツールの工夫等、若さを活かした柔軟な視点からの多様な看護用具の工夫・改善がみられた。学生が自らのテーマに、グループメンバーで一丸となって取り組む様子が印象に残った演習であった。

教育科目の年次配置

教育科目の年次配置

専 門 関 連 科 目	第1段階	第2段階	第3段階	第4段階	1 年 次	2 年 次	3 年 次	前 期	後 期	4 年 次	前 期	後 期	
実 習	早期体験実習	地域保健看護実習Ⅰ 老年保健看護実習Ⅰ	生活援助・療養援助技術実習 精神保健看護実習Ⅰ 周産期保健看護実習Ⅰ 小児保健看護実習Ⅰ 成人保健看護実習Ⅰ	精神保健看護実習Ⅱ 周産期保健看護実習Ⅱ 小児保健看護実習Ⅱ 成人保健看護実習Ⅱ	クリティカル・緩和ケア実習 老年保健看護実習Ⅱ 助産実習(選択) 助産実践論(選択) 基礎助産学(選択) 助産診断・技術学(選択) クリティカル・緩和ケア演習 地域保健看護演習 老年保健看護演習 島嶼保健看護(選択必修) 国際保健看護(選択必修) 看護専門職論Ⅱ	生活援助・療養援助技術実習 精神保健看護実習Ⅰ 周産期保健看護実習Ⅰ 小児保健看護実習Ⅰ 成人保健看護実習Ⅰ	生活援助・療養援助技術Ⅲ クリティカル・緩和ケア論 精神保健看護Ⅱ 地域保健看護Ⅱ 地域保健看護Ⅲ 周産期保健看護Ⅱ 小児保健看護Ⅱ 成人保健看護Ⅱ 老年保健看護Ⅱ 保健医療福祉制度 身体活動論演習(選択) 人体の構造と機能演習Ⅱ リハビリテーション論 法学(選択)	生活援助・療養援助技術Ⅲ クリティカル・緩和ケア論 精神保健看護Ⅱ 地域保健看護Ⅱ 地域保健看護Ⅲ 周産期保健看護Ⅱ 小児保健看護Ⅱ 成人保健看護Ⅱ 老年保健看護Ⅱ 保健医療福祉制度 身体活動論演習(選択) 人体の構造と機能演習Ⅱ リハビリテーション論 法学(選択)	精神保健看護演習 周産期保健看護演習 小児保健看護演習 成人保健看護演習 看護大学ゼミナールⅢ 「ケルソス」へのアプローチ(選択)	地域保健看護実習Ⅱ 在宅保健看護実習 看護統合実習	卒業演習 医療と倫理 看護卒業論文 看護総合演習(選択必修)	講 義 演 習	
教 養 科 目	生物学(選択) 化学(選択) 数学(選択) 沖縄の生活と文化 哲学(選択) 心理学 文学(選択) 歴史学(選択) 英語Ⅰ 看護大学ゼミナールⅠ	ヘルスアセスメント 生活援助・療養援助技術Ⅱ 精神保健看護Ⅰ 地域保健看護Ⅰ 周産期保健看護Ⅰ 小児保健看護Ⅰ 成人保健看護Ⅰ 老年保健看護Ⅰ 病態生理	家族社会学演習 ストレスマネジメントと健康教育 臨床薬理 看護大学ゼミナールⅡ 疾病論Ⅰ 疾病論Ⅱ	精神保健看護実習Ⅱ 周産期保健看護実習Ⅱ 小児保健看護実習Ⅱ 成人保健看護実習Ⅱ	生活援助・療養援助技術Ⅲ クリティカル・緩和ケア論 精神保健看護Ⅱ 地域保健看護Ⅱ 地域保健看護Ⅲ 周産期保健看護Ⅱ 小児保健看護Ⅱ 成人保健看護Ⅱ 老年保健看護Ⅱ 保健医療福祉制度 身体活動論演習(選択) 人体の構造と機能演習Ⅱ リハビリテーション論 法学(選択)	地理学(選択) 環境学(選択) 社会学(選択) 経済学(選択) 情報学(選択) 教育学(選択) 英語Ⅲ(選択) 中国語Ⅰ(選択) スペイン語Ⅰ(選択)	地理学(選択) 環境学(選択) 社会学(選択) 経済学(選択) 情報学(選択) 教育学(選択) 英語Ⅲ(選択) 中国語Ⅰ(選択) スペイン語Ⅰ(選択)	英語Ⅳ(選択) 中国語Ⅱ(選択) スペイン語Ⅱ(選択)	英語Ⅱ 英語Ⅲ(選択) 中国語Ⅰ(選択) スペイン語Ⅰ(選択)	英語Ⅳ(選択) 中国語Ⅱ(選択) スペイン語Ⅱ(選択)	日本語表現法 英語Ⅱ	日本語表現法 英語Ⅱ	生物学(選択) 化学(選択) 数学(選択) 沖縄の生活と文化 哲学(選択) 心理学 文学(選択) 歴史学(選択) 英語Ⅰ 看護大学ゼミナールⅠ
学 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	
学 年	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	

資格取得要件と国家試験合格率

◆資格取得要件

	看護大学	看護専門学校
取得可能資格	<ul style="list-style-type: none"> ●看護師国家試験受験資格 ●保健師国家試験受験資格 ●助産師国家試験受験資格 *助産師課程がある大学において所定の科目を履修した場合 <ul style="list-style-type: none"> ●保健師資格を取得し、所定の科目を履修した者は申請により養護教諭二種免許が取得可能 	<ul style="list-style-type: none"> ●看護師国家試験受験資格 (保健師・看護師統合カリキュラム校は保健師国家試験受験資格も取得可能)
就業年限	4年	3年 (定時制、統合カリキュラム校の場合は4年)
卒業までの単位数	124単位以上	93単位以上 (統合カリキュラム校の場合は111単位)
修了者に対する称号	学士	学校によって 専門士の称号が付与される
学位取得と 大学院への進学	<ul style="list-style-type: none"> ●学士の学位取得可能 ●大学院への進学可能 	<ul style="list-style-type: none"> ●合計124単位以上を履修すれば「大学評価・学位授与機構」により学士の学位取得可能 ●大学院への進学可能

* 沖縄県立看護大学の場合は、卒業に必要な130単位以上、助産師の国家試験受験資格を得るためには、加えて20単位の履修(履修できるのは一部の学生のみで選考により決定される)が必要です。

◆国家試験(看護師、保健師、助産師)合格状況の推移

平成14年度卒業生(1期生)～平成25年度卒業生(12期生)

平成26年4月1日現在
(単位:人)

【看護学部】

実施年度	期	看護師				保健師				助産師			
		受験者数(人)	合格者数(人)	合格率(本学)(%)	合格率(全国)(%)	受験者数(人)	合格者数(人)	合格率(本学)(%)	合格率(全国)(%)	受験者数(人)	合格者数(人)	合格率(本学)(%)	合格率(全国)(%)
平成14年度	1期生	71	70	98.6	92.6	71	66	93.0	91.5	9	9	100.0	89.2
平成15年度	2期生	80	75	93.8	91.2	80	69	86.3	92.8	4	4	100.0	92.6
平成16年度	3期生	79	77	97.5	91.4	79	71	89.9	81.5	7	7	100.0	99.7
平成17年度	4期生	78	76	97.4	88.3	79	65	82.3	78.7	5	5	100.0	98.1
平成18年度	5期生	79	77	97.5	90.6	78	78	100.0	99.0	10	10	100.0	94.3
平成19年度	6期生	81	79	97.5	90.3	81	76	93.8	91.1	10	9	90.0	98.1
平成20年度	7期生	74	68	91.9	89.9	74	72	97.3	97.7	7	7	100.0	99.9
平成21年度	8期生	74	72	97.3	89.5	74	60	81.1	86.6	5	5	100.0	83.1
平成22年度	9期生	78	78	100.0	91.8	78	76	97.4	86.3	10	9	90.0	97.2
平成23年度	10期生	77	75	97.4	90.1	77	74	96.1	86.0	10	10	100.0	95.0
平成24年度	11期生	83	81	97.6	88.8	83	81	97.6	96.0	10	10	100.0	98.1
平成25年度	12期生	75	73	97.3	89.8	75	72	96.0	86.5	8	8	100.0	96.9
合計		929	901	97.0	90.4	929	860	92.6	89.5	95	93	97.9	95.2

在學生からのメッセージ



2年次

高原 虹音

私は、人と関わることが好きという事と看護師は「病氣」に対してではなく、「患者」を重点的に見るという部分に惹かれて看護職を目指ようになりました。

沖縄県立看護大学では、講義中や実習後にはグループを作って一人一人の意見を交換し、グループでまとめた意見を全体で発表するという場が多いので、たくさんの人の意見や知識、価値観を共有し、自分の視野を大きく広げることが出来ます。また、看護大学は単科大学のため、同じ夢・目標を持った仲間と実習や試験などをみんなで協力しあい、互いに切磋琢磨しながら学びあっています。学生の人数は少ないですが、その分学生同士の繋がりが強く、みんなでわいわいと楽しい日々を過ごしています。学業以外には、球技大会や渡嘉敷研修、看大祭などのイベントや、たくさんのサークル活動があり、先輩と後輩、先生方と学生の交流の機会もたくさんあります。

忙しくて大変なこともたくさんありますが、学年を超え共に励ましあい、協力し合って、楽しく学びあう充実した学生生活を送ることが出来ます。是非、皆さんも沖縄県立看護大学で私たちと一緒に看護職者を目指しませんか。



4年次

新城 夏鈴

私は、看護師という職業は、人の一生に関わるとてもやりがいのある素晴らしい職業だと思います。夢と希望に満ち溢れわくわくとした気持ちで沖縄県立看護大学へ入学し早三年、毎日多忙ながらもとても充実した学生生活を送っています。

実際に看護を学び始めてからは、理想と現実のギャップを感じました。勉強することは盛りだくさん、テストや実習もハード。人の命に関わる仕事である分、私たちに課された責任の重さをとても感じました。しかし、勉強すればするほどとても奥深く、やはり看護職を目指してよかったと思います。沖縄県立看護大学は、学生同士の繋がりが強く、お互いに励まし合い協力し合いながら頑張ることが出来ます。また、シミュレーション学習やグループワークが多くあり、思考力や実践力が身につく、日々の学びの多さや大きな成長を実感しています。離島での実習やハワイ研修などもあり、いろんな視点から看護を学び、視野を広げることが出来ます。これからも、さらに広い視野を持って、様々な目線で物事を考えられるような看護師を目指して頑張りたいです。

充実した教育と快適な学生生活をサポートする

学生支援・進路情報

1. 修学に関する支援

- 修学相談 担任制を導入し、修学を含め学生生活全般における相談に個別に対応しています。
- 国家試験対策講座の開催(8月、12月、1月) • 異学年との交流

2. 学生生活に関する支援

- 学年別ガイダンスの開催 毎年4月にガイダンスを実施し「学生生活の心得」のパンフレットを配付し学生生活に必要な情報提供を行っています。

3. 進路・就職に関する支援

進路決定への手引きを配付し、就職セミナーの開催や進学に関する情報提供を行っています。

4. 心身の健康に関する相談

- 心身の健康相談
保健室では健康相談の窓口として健康増進、疾病予防をすすめています。また、スクールカウンセラーの導入で、学生の心身の健康のサポートを行っています。



3.4年次交流会



新年度のガイダンス風景

出身都道府県別在籍者数

	北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	富山県	計	
男													1					
女	2			1		1												
小計	2			1		1							1					
	石川県	福井県	山梨県	長野県	岐阜県	静岡県	愛知県	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県	計	
男										1	1	2						
女											1	2						
小計										1	2	4						
	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	その他	計	
男															41			45
女								1	1	5		2	1	2	259			279
小計								1	1	5		2	1	2	300			324

(平成26年4月現在)

年次別・県外県内別・在籍者数

	県内	県外	男	女	小計
1年次	72	8	10	70	80
2年次	80	3	10	73	83
3年次	73	5	9	69	78
4年次	75	8	16	67	83
計	300	24	45	279	324

(平成26年4月現在)

平成26年度入試形態別入学者数(受験者数・受験倍率)

募集区分	定員	入学者				受験者		倍率	
		入学者数	男	女	県内	県外	受験者数		
一般選抜	前期日程	50	50	9	41	46	4	114	2.3
	後期日程	10	10	1	9	8	2	46	4.6
特別選抜	一般推薦		13	0	13	13	0	24	2.5
	地域推薦	20	3	0	3	3	0	6	
	社会人特別選抜		4	0	4	2	2	20	
計	80	80	10	70	72	8	210	2.6	

卒業生からのメッセージ



看護師 金城 永子
県立病院勤務 2期生

私は沖縄県立看護大学を卒業後、県立病院に就職しました。臨床現場では、さまざまな健康上の問題を抱えている患者さんや家族と関わります。その関わりをとおして多くの学びや葛藤があります。日々、自分の実践した看護を振り返り、より質の高い看護を実践するためにはどうしたらいいのか考えながら研鑽を積んでいます。看護師の仕事は身体的・精神的にハードな部分もありますが、「あなたのおかげで元気になった。ありがとう。」と患者さんや家族から声をかけられた時、看護師になって本当に良かったと心から思います。これからも、患者さんや家族に寄り添った看護が実践できるように頑張ります。

沖縄県立看護大学は、私にとって看護の専門職者としての知識・技術・態度を修得するうえでとても恵まれた環境でした。経験豊かな先生方から科学的根拠に基づいた看護実践の重要性を学ぶことができました。また、講義・演習・実習では学生同士のグループディスカッションの時間が多かったため、自分の考えをまとめて相手に伝える能力を向上させることができたと思います。臨床現場において、質の高い医療を提供するためには他職種間の連携は重要であり、看護師の立場から意見を求められる機会も多いです。大学での学びや経験は、私にとって大きな糧となっています。



保健師 屋 宜 一 馬
市保健所勤務 12期生

平成25年3月に沖縄県立看護大学を卒業し、4月から那覇市役所の保健師として勤務しています。大学入学当初より、医療費の増大や生活習慣病の増加等の問題に対して関心があり、病気の予防に携わる仕事がしたいと思っていました。大学で勉強するなかで保健師業務を知り、地域住民の疾病の予防、健康の維持・向上に携わることができる保健師になりたいと強く思うようになりました。そして念願の市役所保健師となり現在働いています。勤務し始めて強く思うのが、日々学ばねばならないということです。大学では基礎的な教育を受けますが、職場では現場に即した知識が必要になります。教科書の内容は知っていてもそれをどう現場で活用し、実践するのかという具体的な知識が求められます。それを一緒に働いているプリセプターや先輩から教えていただいたり、実践する姿を見ながら学ばせてもらっています。まだ保健師1年目で未熟なところも多いので仕事の中でつまづくことも多々あります。そういうときは同期や先輩に相談したり、自分で勉強したりしながら乗り越えています。保健師の業務は、生活習慣病予防だけではなく精神保健福祉や母子保健、高齢者介護等多岐に渡ります。現在いる部署で一生懸命仕事をしながら乳幼児から高齢者まで地域住民全員を支援できるように成長していきたいです。これから看護職を目指すみなさん、頑張ってください。そして保健師になったら一緒に協力連携して地域をよりよくしていきましょう。



助産師 塚 本 暁 子
診療所勤務 1期生

沖縄県立看護大学を卒業し早11年の歳月が経ちました。現在は糸満市にある産婦人科クリニックで助産師として勤務しています。

私は学生の頃より女性のライフサイクルと健康に興味を持ち、私自身も女性であることから、女性を支援する仕事をしたいと考えていました。助産師として、周産期にある多くの女性とその家族に関わる中で、新しいライフステージの段階へと進む時のケアの重要性を実感しています。女性の健康を守ることは、その家族の健康を守ることにつながるからです。

最近では、後輩の教育や学生の実習を担当する機会も多く、後進を育てることの難しさと楽しさを感じる日々を送っています。

卒業後私は長く臨床で勤めていますが、今も改めて思うことは、私自身の看護観は大学時代に学び経験したことを基礎に、臨床で働く中でさらに学び発展してきているということです。沖縄県立看護大学の先生方の教え、実習で出会った患者さまやスタッフのみならずから学び得たものは大きく、今の私の助産師としての根幹となっています。

大学は学び方を勉強する場所です。沖縄県立看護大学には学ぶのに素晴らしい環境と機会が数多くあります。これから4年間の時間を大切に過ごし、夢と希望、高い志を持った看護職者としてスタートラインに立ってください。



養護教諭 奥 間 美 香
公立学校勤務 6期生

私は現在、特別支援学校の養護教諭として勤務しています。沖縄県立看護大学を卒業して今の学校で3校目になります。初めての勤務校は大規模な高等学校、2校目は全校児童14名の僻地にある小さな小学校で働いてきました。

実際に勤務してみると、自分が想像していた以上に職務が多様で、勤務地や学校の規模、校種によっても違ってきます。初めは戸惑うことが多くありましたが、時にはカウンセラー的役割を担ったり、時には害虫駆除を行い、衛生管理に徹したり、時には保健指導をしたりと様々な顔を持つのが養護教諭なのだと感じました。また、現在勤務している特別支援学校では、学校生活を過ごす中で医療的なケアを必要とする児童生徒が多く在籍しているため、教職員に対して医学的な知識を伝えることも養護教諭の一つの役割となっています。

私は大学時代に様々な事を経験し、たくさんの人と関わり、意見交換をしてきました。その経験があり、現在、教職員や関係機関と連携・協力しながら子ども達の健康と安全を支えることが出来ていると感じています。

大学の限られた時間の中ですが、多くの人と出会い、自分自身を成長させ、目標に向かって頑張ってください。

平成25年度卒業生(12期生)の就職・進学状況

● 就職		1.県内	2.県外	合計
		46 (64.8%)	25 (35.2%)	
1. 看護師	国公立	32	2	34
	その他	8	21	29
	計	40	23	63
2. 保健師	国公立	2	2	2
	その他	2	2	2
	計	2	2	4
3. 助産師	国公立	3		3
	その他	3		3
	計	3		3
4. 養護教諭	国公立			
	その他			
	計			
5. 未定	国公立			
	その他			
	計			
6. その他	国公立	1		1
	その他			
	計	1		1
● 7. 進学	国公立	2	2	2
	その他		1	1
	計	2	1	3
● 8. 未定・未確認		-	-	1
	合計			75

(卒業予定者75名) 単位:人 平成26年3月28日現在

○主な就職先など

卒業予定者75名

◆ 進学 (3名)

沖縄県立看護大学別科助産専攻(2)、
昭和大学助産師課程(1)

◆ 就職 (71名)

県内 (46名)

沖縄県立病院(16)、琉球大学医学部付属病院(14)、
沖縄赤十字病院(8)、国立病院機構 琉球病院(2)、
オリブ山病院(2)、那覇市立病院(1)、沖縄協同病院(1)、
沖縄県国民健康保険団体連合会(1)、豊見城市役所(1)

県外 (25名)

筑波メディカルセンター病院(2)、鎌ヶ谷総合病院(3)、
千葉中央メディカルセンター(1)、新松戸中央総合病院(1)、
イムス三芳総合病院(1)、昭和大学病院(1)、
横浜南共済病院(2)、大和市立病院(1)、
横浜旭中央総合病院(1)、木沢記念病院(1)、
第二岡本総合病院(1)、東住吉森本病院(2)、
多根総合病院(1)、吹田病院(1)、石切生喜病院(1)、
大阪府三島救命救急センター(1)、神戸市立医療センター(1)、
飯塚病院(1)、佐世保市立総合病院(2)

平成26年3月28日現在

1 募集人員

(単位：人)

募集区分		定員
特別選抜	一般推薦	20
	地域推薦	
	社会人特別選抜	
一般選抜	前期日程	50
	後期日程	10
計		80

2 個別試験科目、日程等

募集区分	試験科目	出願期間	試験日	合格発表	入学手続期間
特別選抜	①小論文	H26.11.4(火)	H26.11.15(土)	H26.11.28(金)	H26.11.28(金)
	②面接	H26.11.7(金)			
	①センター試験	H27.1.26(月)			
②個別学力試験 1)小論文 2)面接	H27.2.4(水)	H27.3.12(木)	H27.3.20(金)	H27.3.27(金)	

3 出願資格

①特別選抜試験

(1)一般推薦

次の各号に掲げる要件のすべてに該当し、当該者が在学する高等学校長又は中等教育学校長が責任をもって推薦する者とします。

- 1) 沖縄県内の高等学校又は中等教育学校を平成27年3月卒業見込の者
- 2) 学業成績が優秀な者
- 3) 沖縄県立看護大学の教育に対して適性を有する者で、本学卒業後、本県においてその専門分野における実践及び教育研究に携わっていく意欲を有する者
- 4) 合格した場合、必ず入学する者

(2)地域推薦

次の各号に掲げる要件のすべてに該当し、沖縄県内の町村長(*)、石垣市長及び宮古島市長並びに当該者が在学する高等学校長又は中等教育学校長が責任をもって推薦する者とします。

- 1) 平成26年3月に沖縄県内の高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び平成27年3月卒業見込みの者
- 2) 学業成績が優秀な者
- 3) 沖縄県立看護大学の教育に対して適性を有する者で、本学卒業後、推薦市町村において保健・医療・福祉の向上に貢献しようとする者
- 4) 合格した場合、必ず入学する者

*町村は次のとおりです。伊平屋村、伊是名村、伊江村、渡嘉敷村、座間味村、粟国村、渡名喜村、南大東村、北大東村、久米島町、多良間村、竹富町、与那国町、国頭村、大宜味村、東村

(3)社会人特別選抜

次の各号に掲げる要件のすべてに該当する者とします。

- 1) 大学入学資格を有する者。
- 2) 平成27年4月1日現在、満23歳以上で、かつ社会人の経験を通算3年以上有する者。ただし、通信教育の大学(短期大学を含む)以外の学校に在籍していた期間は、社会人の経験期間に含めない。
- 3) 入学後は、就労せず学業に専念できる者
- 4) 沖縄県立看護大学の教育に対して適性を有する者で、本学卒業後、本県においてその専門分野における実践及び教育研究に携わっていく意欲を有する者

②一般選抜試験

(1)前期日程試験、後期日程試験

平成27年度大学入試センター試験のうち本学の指定する教科、科目を受験した者

※注意事項 前期日程試験、後期日程試験の両方に出願することができます。ただし、出願に必要な書類、入学考査料などは、各試験毎に必要なになります。それぞれに出願して下さい。

H27年度センター試験で本学受験に必要な教科・科目

教科名	科目名	科目選択の方法
国語	国語	必須
地理歴史、公民	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」、「現代社会」、「倫理」、「政治経済」、「倫理・政治経済」	左記から1科目を選択
数学	「数学I」、「数学I・数学A」	左記から1科目を選択
	「数学II」、「数学II・数学B」	左記から1科目を選択
理科	「生物」	必須
	「物理」、「化学」	左記から1科目を選択
外国語	「英語」(リスニングを含む)	必須

※5教科7科目

【数学及び理科の旧教育課程履修者に対する経過措置】

教科名	新教育課程により出題する科目	旧教育課程により出題する科目	科目選択の方法
数学	「数学I」、「数学I・数学A」	「旧数学I」、「旧数学I・旧数学A」	左記から1科目を選択
	「数学II」、「数学II・数学B」	「旧数学II」、「旧数学B」	左記から1科目を選択
理科	「生物」	「生物I」	左記から1科目を選択
	「物理」	「物理I」	新教育課程による「生物」を選択した者は新教育課程による「物理」「化学」から1科目を選択。 旧教育課程による「生物I」を選択した者は旧教育課程による「物理I」「化学I」から1科目を選択。
	「化学」	「化学I」	

4 試験科目・配点 (新・旧課程同様)

選抜区分	大学入試センター試験(900)					本学個別試験(100)		合計
	国語	地歴、公民	数学	理科	外国語「英語」(リスニング含む)	小論文	面接	
特別選抜						70	30	100
一般選抜	200	100	200	200	200	70	30	1000

1. 「地理歴史」「公民」について、2科目を選択する場合は、解答順に第1解答科目及び第2解答科目に区分し解答を行うが、第1解答科目の得点を合否判定に使用する。
2. 「英語」について、筆記(200点)とリスニング(50点)の合計点を200点に換算する。

5 募集要項の請求方法等

① 学生募集要項の公表及び配付時期について

(試験場、出願方法、出願手続、入学考査料その他入学者選抜に関する実施細目)

- (1) 「特別選抜学生募集要項」平成26年8月下旬(公表及び配付)
- (2) 「一般選抜学生募集要項」平成26年9月下旬(公表及び配付)

② 学生募集要項の請求方法について

「平成27年度特別選抜学生募集要項」及び「平成27年度一般選抜学生募集要項」等は、下記により請求できます。

- (1) 大学のホームページから請求する場合
大学のホームページから直接、「テレメール」による資料請求ができます。詳しくは、沖縄県立看護大学ホームページ(<http://www.okinawa-nurs.ac.jp/>)をご覧ください。
- (2) テレメール(インターネット又は自動音声応答電話)で請求する場合
下記のいずれかの方法で「テレメール」にアクセスしてください。

種類	請求方法
インターネット (パソコン、スマホ、携帯電話)	携帯電話で右のバーコードを読み取ってアクセスした場合は、資料請求番号の入力は不要です。 http://telemail.jp/
自動音声応答電話	IP電話: 050-8601-0101 (24時間受付) 上記番号に電話し、音声ガイダンスに従うこと。 ※IP電話への通話料金は、一般電話回線からは日本全国どこからでも3分毎に約12円です。

自動音声応答電話では、以下の資料請求番号(6桁)をプッシュ又は入力してください。

資料名	資料請求番号	送料	発送開始日
大学案内	568200	資料に応じて送料が異なります。	随時受付中
入学者選抜要項	568220		7月上旬予定
特別選抜・学生募集要項	388210		8月下旬予定
一般選抜・学生募集要項	588200		9月下旬予定
大学案内及び一般選抜・学生募集要項	548300		9月下旬予定

- 1) 資料は受付から2, 3日で送付されます。ただし、郵送開始日までのご請求は予約受付となり、郵送開始日になりましたら一斉に郵送します。
- 2) 送料は、お届けした資料に同封の支払方法に従いお支払い下さい。
- 3) 電話によるご請求の場合、住所、名前の登録時は、ゆっくりはっきりとお話し下さい。登録された音声不鮮明な場合は到着まで時間がかかる場合があります。

(3) 郵便局で「学生募集要項」を請求する場合(10月より案内開始)

- 1) 10月より郵便局に設置される「国公立大学・短期大学及び通信教育課程、大学校募集要項(願書)請求申込書」(郵便局用願書請求カタログ)に必要事項を記入の上、送料と払込手数料130円を添えて最寄りの郵便局に申し込むこと。受付から1週間程度で送付されます。
- 2) 請求方法についての問い合わせ先
テレメールカスタマーセンター
TEL 050-8601-0102 (9:30~18:00)

(4) 本学へ郵送により「学生募集要項」等を請求する場合

- 1) 封筒の表に「平成27年度特別選抜学生募集要項請求」又は「平成27年度一般選抜学生募集要項請求」等と朱書すること。
- 2) 返信用封筒(角型2号・33cm×24cm)を同封すること。なお、返信用封筒には、あて先(請求者の郵便番号、住所、氏名)を明記し、250円切手(速達希望者の場合は530円切手)を貼付すること。

(5) 大学に直接訪問して受領する場合

配布場所: 沖縄県立看護大学 学務課 窓口
配布時間: 8:30~17:15 (12:00~13:00を除く)

※上記(4)(5)の請求方法についての問い合わせ先
沖縄県立看護大学 学務課(入試担当)
〒902-8513 沖縄県那覇市与儀1丁目24番1号
TEL 098-833-8800 FAX 098-833-5133

[CAMPUS LIFE Q&A]

Q 受験料(入学考査料)はいくらですか?

A 受験料(入学考査料)は、特別選抜、一般選抜ともに17,000円となっています。

Q 入学料はいくらですか?

A 入学料は、沖縄県内居住者は282,000円、その他の者は512,000円となっています。

Q 授業料はいくらですか?

A 授業料は、年間535,800円で、前期と後期に分けて徴収します。その他に、教科書代が約5~6万円、後援会費が5万円(4年分)、同窓会費2万円などが必要でです。

Q 入学料や授業料の減免について

A 天災その他不慮の災害により学費の負担に堪えられなくなった方や生活保護法により保護を受けている方等は、減免制度を利用することができます。
※家計や学力の基準により全額免除、減額(2分の1)、減免不可いづれかの判定が行われます。

Q 奨学金について

A 奨学金は、人物・学業優秀な学生が、経済的理由により就学困難と認められる場合に、学資として貸与される制度です。
下記の独立行政法人日本学生支援機構、地方公共団体等の奨学金があります。

● 独立行政法人日本学生支援機構

第一種奨学金月額(30,000円、45,000円<自宅>、51,000円<自宅外>)
第二種奨学金月額(30,000円、50,000円、80,000円、100,000円、120,000円から選択)

※第一種奨学金:無利子貸与、第二種奨学金:有利子貸与

● 財団法人沖縄県国際交流・人材育成財団

月額40,000円 ※無利子貸与

● 沖縄県看護師等修学資金

第一種修学資金 月額 32,000円
第二種修学資金 年額上限70万円(本学では535,800円)

● その他の奨学金などの制度

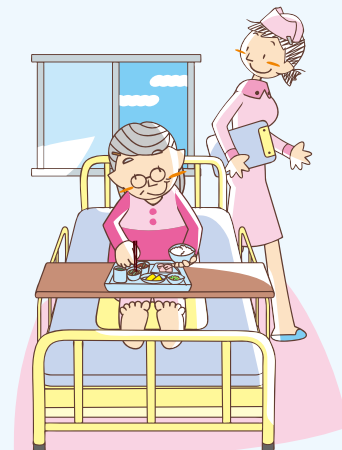
上記以外にも病院等の奨学金や修学資金の制度があります。

Q 特別選抜の推薦について一般・地域・社会人別に人数の枠があるのか?

A 特別選抜試験は、一般推薦、地域推薦、社会人特別選抜の3形態ありますが、入学定員は3形態まとめて20名となっており、入試区分毎の定員は設定していません。

Q 特別選抜の推薦(一般推薦、地域推薦)において、内申点ほどのくらい必要か?

A 内申点の基準は特に定めておらず、内申書は面接の得点に考慮されます。



1 募集人員

① 博士前期課程

分野	領域	専門科目	定員
文化間保健看護	保健看護管理	保健看護管理 保健看護教育	6名
	地域保健看護	地域保健看護 精神保健看護 実践精神看護	
生涯発達保健看護	母子保健看護	母子保健看護 実践小児看護	
	成人・老年保健看護	成人・老年保健看護 実践がん看護 実践慢性看護 実践老年看護	
先端保健看護	新領域保健看護	新領域保健看護	
	島嶼保健看護	島嶼保健看護 実践島嶼保健看護	

② 博士後期課程

分野	領域	専門科目	定員
文化間保健看護	保健看護管理	保健看護管理 保健看護教育	2名
	地域保健看護	地域保健看護 精神保健看護	
生涯発達保健看護	母子保健看護	母子保健看護	
	成人・老年保健看護	成人・老年保健看護	
先端保健看護	新領域保健看護	新領域保健看護	
	島嶼保健看護	島嶼保健看護	

2 個別試験科目、日程等(博士前期、博士後期共通)

区分	試験科目	(配点)	出願期間	試験日	合格発表	入学手続期間
博士前期課程	英語	(100)	H26. 8.8(金)	H26. 9.6(土)	H26. 9.12(金)	H26. 9.12(金)
	共通科目	(100)				
博士後期課程	専門科目	(100)	H26. 8.22(金)			H26. 9.26(金)
	面接	(100)				

- (1)英語(※辞書1冊持ち込み可、電子辞書不可)
- (2)専門科目は、自分の志願する科目の中から1科目を選択し受験すること。

3 出願資格

① 博士前期課程

次の各号いずれかに該当する者とします。

- 看護系大学(短期大学を除く)を卒業した者又は平成27年3月までに卒業見込みの者
- 看護系以外の大学(短期大学を除く)を卒業又は学位授与機構により学位を取得し、看護師、保健師、助産師のいずれかの免許を有する者
- 看護系の大学を卒業した者と同等以上の学力があると本研究科が認めた者
- 外国において学校教育における16年の課程を修了した者又は平成27年3月までに修了見込みの者
- 専修学校の専門課程で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- 文部科学大臣の指定した者(昭和28年2月7日文部省告示第5号)

② 博士後期課程

次の各号いずれかに該当する者とします。

- 看護系大学(短期大学を除く)を卒業し、看護系博士前期課程(修士)を修了した者又は平成27年3月までに修士の学位を取得見込みの者
- 1) 以外の者で、看護の免許を有し、修士の学位を有する者又は平成27年3月までに修士の学位を取得見込みの者
- 看護系の大学院博士前期課程(修士)を修了した者と同等以上の学力があると本研究科が認めた者
- 外国において修士に相当する課程を修了し、修士に相当する学位を有する者又は平成27年3月までに修士に相当する学位を取得見込みの者
- 文部科学大臣の指定した者(昭和28年2月7日文部省告示第5号)

4 募集要項の請求方法等

① 学生募集要項の公表及び配付時期について

(試験場、出願方法、出願手続、入学考査料その他入学者選抜に関する実施細目)

- (1)「大学院生募集要項(博士前期課程、博士後期課程)」平成26年6月下旬(公表及び配付)

② 学生募集要項の請求方法について

「平成27年度大学院生募集要項(博士前期課程、博士後期課程)」は、下記により請求できます。

- (1) 本学へ郵送により「学生募集要項」等を請求する場合
 - 封筒の表に「平成27年度大学院生募集要項(博士前期課程又は博士後期課程)」等と朱書すること。
 - 返信用封筒(角型2号・33cm×24cm)を同封すること。なお、返信用封筒には、あて先(請求者の郵便番号、住所、氏名)を明記し、250円切手(速達希望者の場合は530円切手)を貼付すること。
- (2) 大学に直接訪問して受領する場合

配布場所: 沖縄県立看護大学 学務課 窓口
配布時間: 8:30~17:15 (12:00~13:00を除く)

※上記(1)(2)の請求方法についての問合わせ先

沖縄県立看護大学 学務課(入試担当)
〒902-8513 沖縄県那覇市与儀1丁目24番1号
TEL 098-833-8800 FAX 098-833-5133

1 募集人員

(単位:人)

専攻	修業年限	選抜区分	定員
別科助産専攻	1年	推薦選抜	5
		社会人特別選抜	5
		一般選抜	10
計			20

2 個別試験科目、日程等

選抜区分	試験科目	(配点)	出願期間	試験日	合格発表	入学手続期間
推薦選抜	母性・小児看護学	(70)	H26. 11.4(火)	H26. 11.15(土)	H26. 11.28(金)	H26. 11.28(金)
	面接	(30)				
社会人特別選抜	母性・小児看護学	(40)	H26. 11.7(金)	H26. 11.15(土)	H26. 11.28(金)	H26. 11.28(金)
	小論文	(30)				
	面接	(30)				
一般選抜	母性・小児看護学	(40)	H27. 1.19(月)	H27. 2.12(木)	H27. 2.20(金)	H27. 2.20(金)
	小論文	(30)				
	面接	(30)				

3 出願資格

① 推薦選抜

次の各号 1)～3)のいずれかに該当し、さらに 4)～8)の全てを満たす者とします。

- 1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者
- 2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者
- 3) 学校教育法施行規則第150条の規程により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者
- 4) 看護師の資格を有し、県内の産婦人科病院・診療所に3年以上勤務し施設長が推薦する者
- 5) 修了後は助産師として元の職場に復帰する者
- 6) 修学中は勉学に専念できる者
- 7) 心身共に健康で生活態度も健全な者
- 8) 女子に限る

② 社会人特別選抜

次の各号 1)～3)のいずれかに該当し、さらに 4)～8)の全てを満たす者とします。

- 1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者
- 2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者
- 3) 学校教育法施行規則第150条の規程により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者
- 4) 看護師の資格を有し、現在県内の医療施設等で就業している者
- 5) 修了後は県内の医療施設に就職する意志のある者
- 6) 修学中は勉学に専念できる者
- 7) 心身共に健康で生活態度も健全な者
- 8) 女子に限る

③ 一般選抜

次の各号 1)～3)のいずれかに該当し、さらに 4)～7)の全てを満たす者とします。

- 1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者
- 2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者
- 3) 学校教育法施行規則第150条の規程により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者
- 4) 看護師の免許を有する者又は平成27年2月の看護師国家試験受験資格を有する者
- 5) 修学中は勉学に専念できる者
- 6) 心身共に健康で生活態度も健全な者
- 7) 女子に限る

4 募集要項の請求方法等

① 学生募集要項の公表及び配付時期について

(試験場、出願方法、出願手続、入学考査料その他入学者選抜に関する実施細目)

- (1) 「推薦選抜、社会人特別選抜 学生募集要項」
平成26年8月下旬(公表及び配付)
- (2) 「一般選抜 学生募集要項」
平成26年9月下旬(公表及び配付)

② 学生募集要項の請求方法について

「平成27年度推薦選抜、社会人特別選抜 学生募集要項」及び「平成27年度一般選抜 学生募集要項」は、下記により請求できます。

- (1) 本学へ郵送により「学生募集要項」等を請求する場合
 - 1) 封筒の表に「平成27年度推薦選抜、社会人特別選抜 学生募集要項」及び「平成27年度一般選抜 学生募集要項」等と朱書すること。
 - 2) 返信用封筒(角型2号・33cm×24cm)を同封すること。なお、返信用封筒には、あて先(請求者の郵便番号、住所、氏名)を明記し、250円切手(速達希望者の場合は530円切手)を貼付すること。
- (2) 大学に直接訪問して受領する場合
配布場所: 沖縄県立看護大学 学務課 窓口
配布時間: 8:30～17:15(12:00～13:00を除く)

※上記(1)(2)の請求方法についての問い合わせ先
沖縄県立看護大学 学務課(入試担当)
〒902-8513 沖縄県那覇市与儀1丁目24番1号
TEL 098-833-8800 FAX 098-833-5133

大学院

保健看護学研究科

- ・博士前期課程では、広い視野に立って看護における高度なケアの実践や教育のできる専門的能力を養う、又は学識を深めることによって研究能力を養うことを目的とする。
- ・博士後期課程では、看護分野における研究者として自立した研究活動を行なうのに必要な研究能力及びその基礎となる豊かな学識を養うことを目的とする。

大学院 Q&A

Q1. カリキュラムについて教えてください。

博士前期課程と博士後期課程には、保健看護管理・教育、地域・精神保健看護、母子保健看護、成人・老年保健看護、新領域保健看護、島嶼保健看護の6領域があります。所定の科目の単位を取得して論文の審査に合格すれば修士(看護学)、または博士(看護学)の学位が得られます。また博士前期課程では精神看護、慢性看護、老年看護、がん看護、小児看護の5つの専門看護師のコースがあり、修了時に専門看護師受験資格が得られます。

Q2. 授業料について教えてください。

授業料は1年間535,800円(平成26年度)です。長期履修制度があり、標準修業年限での履修が困難な場合に博士前期課程で2年分の学費で3年間、博士後期課程では3年分の学費で4年間かけて履修することが可能です。その他、授業料の減免や奨学金制度があります。

Q3 最終学歴が看護専門学校卒なのですが、大学院を受験することはできますか？

受験はできます。但し受験資格の審査を受けていただく必要がありますので、募集要項をご確認の上、所定の期間内に手続きを行ってください。

Q4. 働きながら学ぶことはできますか？

可能です。社会人が学びやすい環境を整備するため、博士前期・後期課程においては昼夜開講制を導入しており、月曜～金曜日の午後・夜間6・7時限(17:40～20:50)及び土曜、日曜日の午前・午後1～5時限(8:40～17:30)に開講しています。

Q5. 離島で勤務している場合でも大学院で学ぶことはできますか？

本学と宮古島市(県立宮古病院サテライト教室)、石垣市(石垣島教室)、久米島町(久米島教室)を結ぶITを利用した遠隔講義システムが整備されています。同時・双方向で映像や音声データの通信が可能で、講義を受けることができます。

Q6 受験に際し、専門分野が決まっていない場合、どのように相談すればよいですか。

進学説明会(6月)やオープンキャンパス(7月)でも個別の説明会を開催しています。また、学務課(TEL:098-833-8800)では随時相談を受け付けていますので、お問い合わせ下さい。

分野	領域	博士前期課程	博士後期課程
文化間保健看護	保健看護管理	<p>特定「文化」をキーワードとしてマクロレベルでの新興感染症への対策、ミクロレベルでの生活習慣と価値観の異なる人々の健康生活に向けた管理的貢献、プライマリー・ケアを重視した行政的施策と費用効果、病院・病棟の疾病管理と人々の健康管理など実践的看護管理活動を分析・評価し、複雑化した課題に対応できる卓越した実践家、教育研究者養成に必要な能力の向上を図る。</p> <p>看護を取り巻く社会や科学の発達に対応して変化・発展する看護観及び看護技術が、看護者個々や集団においてどのように形成され修得されるかを学ぶ。さらに、看護基礎教育及び現任教育における教育方法の開発、看護実践における看護者の教育能力開発の方法を探究し、看護基礎教育の担い手である人材の育成や保健看護分野における実践者の教育指導能力の向上を図る。</p>	<p>文化間保健看護の立場から、特定「文化」の枠組に基づき国境を越えて個人、地域、国レベルで健康上の問題解決、新しい保健看護管理の探求、また、通文化的、あるいは特異的ヘルスクエア評価、公的サービスと調整、看護ケアのコスト及びコスト効果分析（ケアの結果と質の測定）など高いレベルの分析・評価と対応策を探求する。</p> <p>保健看護実践および教育が多様な文化の影響を受けながら発展する共に、文化へも影響を与えることを前提にした広い視野を持つ、高いレベルの保健看護教育の実践者および看護学の発展に寄与する人材育成に関する理論を探求する。</p>
	地域保健看護	<p>地域社会及びハイリスク集団を対象とした施策、計画、実施、結果、評価について学習する。また、ミクロのレベルでは地域で健康上のリスク者への保健看護実践、ヘルスプロモーション、健康教育（疾病教育）などにおいて適切な研究のアプローチを行い、最近の知識を応用し、問題解決のためリーダーとなる能力の向上を図る。</p> <p>精神保健相談時の受理面接、コンサルテーションなど専門的技術を身につけ、また、サービスの質向上のために先行研究結果を実践に応用し、活躍する実践家、あるいは教育研究者となる能力の向上を図る。</p> <p>また、専門看護師（精神看護）に必要な高度な実践能力の育成を図る。</p>	<p>上級管理者など、より高度な立場から実践活動に従事、複雑な研究テーマへの取り組み、博士前期課程の教育を行う教育者、あるいは自立した研究者として新たな学術的発展を図る。</p> <p>文化的枠組みで人々のメンタルヘルスおよびリスクや集団のための法律・政策、条例の制定などにより高度な学術的観点から提言、同時に学術的、教育的貢献を図る。</p>
生涯発達保健看護	母子保健看護	<p>卓越した専門家として病院・地域で妊産婦や新生児及び家族に高度な専門的ケアの提供、母性の問題解決のため学術的チームの調整的役割、リプロダクティブ・ヘルス / ライフへの適切な支援の提供、ハイリスク女性・妊婦・新生児の評価と支援、実践的専門家としての指導者、あるいは教育研究的能力の向上を図る。</p> <p>高度な専門看護職者として、それぞれの職場の保健看護システムの中で小児保健看護上の課題を認識し、質の高いケア提供を計画、実施、評価し、指導的役割を果たし、また、疾病の有無にかかわらず子どもの発達状態の評価と支援技術、ケア提供の医療環境 / 制度に関する実践可能な好ましい方策実施を図る。</p> <p>また、専門看護師（小児看護）に必要な高度な実践能力の育成を図る。</p>	<p>母性保健看護及び助産に関して、生涯発達の視野に立ち課題をみつけ、実践・分析、評価、統合し、知見創出により実践的及び教育的、学術的に母性の健康と看護学の発展を図る。</p> <p>子どもと家族の健康上の課題の解決に既存の研究結果を応用、新たな研究課題の発見、計画・実施・評価し、新しい実践的、学術的、教育的貢献を図る。</p>
	成人・老年保健看護	<p>成人期のヘルスプロモーション、健康政策、疾病予防、リスク軽減及び急性期・慢性期の高度なケアの実践と改善、学術的な研究的活動、また、医療システムと成人期患者ケアの質の分析と評価、中間管理職のレベルで看護の質の向上を図る。</p> <p>また、専門看護師（慢性看護・がん看護）に必要な高度な実践能力の育成を図る。</p> <p>老年保健看護領域で、直接的なケアプランの作成と提供、ケア提供チームにおける看護実践と管理、ケアの評価と統合・調整できる老年保健看護専門職者、同時に研究能力の向上を図る。</p> <p>また、専門看護師（老年看護）に必要な高度な実践能力の育成を図る。</p>	<p>特に遠隔教育などの積極的活用によって他職種と連携し、上級管理職のレベルで医療・保健機関の管理、教育的機関での教育的活動、また、複雑なケース・マネージメントの実践、高度な学術的、教育的貢献を図る。</p> <p>高齢者のケアの質とQOL向上に向けて年代、時代にふさわしい新たな研究と知の創造をめざし看護職の立場から方法、技法の開発、実践現場への支援、自立した教育研究による学術的な貢献を図る。</p>
先端保健看護	新領域保健看護	<p>上記特定の領域に分類できない、あるいは共通する新たな看護上の課題解決方法、技術、看護上の新たな課題への研究的アプローチ、例えば臓器移植看護とそのコーディネーターとしての役割、遠隔保健看護の実践・教育研究に必要とされる知識と技術などの向上を図る。</p>	<p>保健看護上に新たに生じた課題を解決するために学術的、国際的に必要な情報を収集し、分析し、課題解決の計画、実施、評価を行い、看護実践における質の向上を図る。また、各領域に共通する新たな課題をみつけ解決する先端的研究方法の開発及び教育的貢献によって人々の健康上の新たなニーズへの対応策を探求する。</p>
	島嶼保健看護	<p>島嶼看護の高度な実践ならびに実践的教育ができる看護指導者を育成する。保健・医療福祉専門職者が少ない島嶼地域において、看護職者が果たす役割は大きい。特に保健医療福祉、教育・行政などの幅広い他職種ケア連携・協働による保健医療福祉活動を通して、島嶼住民の生活文化に根ざした看護を実践できる高度な島嶼看護専門能力を育成することを目指す。</p> <p>また、島嶼保健看護専門看護師に必要な高度な実践能力の育成を図る。</p>	<p>国内外の島嶼看護上の課題を解決するために学術的、国際的に必要な情報を収集・分析し、課題解決の計画、実施、評価を行い、島嶼看護実践における質の向上を図る。また、島嶼保健看護に関する新たな課題をみつけ解決する方法の開発及び教育的貢献によって人々の健康上のニーズに対応する新たな対応策について探索する。</p>

大学院生の紹介



博士前期課程
保健看護管理領域
(保健看護教育)
長田 民子

県立病院勤務
認定看護師

私は現在県立中部病院に勤務しています。救急看護認定看護師として救命救急センター（EC）での実践に加え、院内における指導、相談を担っています。ECでの現場教育（OJT）、院内での集合教育、委員会での委員教育は私の役割のひとつです。教育は看護の質を上げ、患者、その家族により良い看護を提供することにつながる重要な役割だと考えています。

しかし、私の教育に関する知識は認定看護課程でわずかに学んできたものです。認定看護師としての十年を振り返ると、自分自身が行ってきた教育を振り返る余裕がなく、次に活かす事もできませんでした。また、現場における課題解決の方法として、勉強会を計画するのですが中々実現できず、アプローチの仕方に問題があるのではないかと落ち込んだこともありました。

そこで、「教育について基礎から学んでみたい」と考え、平成25年度沖縄県立看護大学大学院保健看護管理領域（保健看護教育）に入学したのです。授業では他の院生と共に意見を述べ合うなかで自分自身の考えをまとめ、他者の意見・考えに共感し、ある時は異議を唱えながら、切磋琢磨し学んでいます。また、単に歴史や方法を学ぶにとどまらず、人間本来の姿を理解すること、対象の意識に働きかける教育が大切であることを認識しました。

大学院入学の目的・意思を忘れることなく人間として成長しつつ学問に励み、今後の看護活動に活かしていきたいと考えます。



博士前期課程
島嶼保健看護領域
(包括的保健看護)
新里 裕子

県立病院勤務
看護師

私は、現在沖縄県立南部医療センター・こども医療センターに勤務しながら、本学の博士前期課程島嶼保健看護領域で学んでおります。

私が沖縄県立看護大学大学院を志した理由は、看護師として経験を重ねる中、看護や治療に対して「これでよいのか」と考える場面が増えたことがひとつです。また、医療チームの一員として、適切な看護実践を行う場面において自身の基礎知識不足を痛感したからです。いつの間にか情性で仕事しているのではないかという怖れさえも抱くようになりました。そこで、大学院で学ぶことにより、あらためて経験をふりかえり、答えを模索し、これからの看護実践へ活かしたいと考え進学を決意しました。また、理解ある上司の強い勧めもありました。

大学院で学ぶことは実際、自主性がかなり求められます。自身の課題解決に必要な知識・技術の習得に向けて主体的に学んでいる途中です。学んだ知識を、今までの看護実践の場面に反映させてみると、こういう方法もあったのかと視点が変化し看護の実践の場面が生き生きとよみがえってきます。学習することの醍醐味かと思えます。

三交代の勤務をしながら学習することは時間の調整や体力的に大変ですが、職場の理解と長期履修制度を利用しながら、これからも学んでいきたいと思えます。



博士後期課程
島嶼保健看護領域
與座千代子

県立看護大学勤務
大学教員

私は以前、小規模離島で保健師として働きながら沖縄県立看護大学大学院博士前期課程に在籍し、指導教員の助言を受け、看護実践上の課題の改善に取り組んでいきました。また、課題研究においては、島民と共に島全体の子育て支援計画を策定していくアクションリサーチに取り組みました。

現在は島嶼保健看護領域の博士後期課程に在籍しています。これまでの経験を通して、島民の健康を支える看護職者への支援の重要性を感じたため、小規模離島の看護職者に必要な能力や教育についての研究に取り組んでいます。小規模離島という小さなフィールドですが、そこでの保健看護の研究成果や実践は県内だけでなく世界にも発信していける可能性を秘めています。

研究の魅力は、未開拓分野を開発し、看護実践の改善につなげることができるところにあります。このように、研究に関心のある方に志願していただき、共に研究していけることを期待しています。

沖縄県立看護大学大学院年度別入学生状況

(単位：人)

		出身		性別		入学者計
		県内	県外	女性	男性	
平成16年4月入学生 (1期生)	博士前期	5	1	5	1	6
	博士後期	2	0	1	1	2
平成17年 (2期生)	博士前期	5	4	8	1	9
	博士後期	0	2	2	0	2
平成18年 (3期生)	博士前期	6	0	6	0	6
	博士後期	1	1	2	0	2
平成19年 (4期生)	博士前期	7	0	6	1	7
	博士後期	0	2	2	0	2
平成20年 (5期生)	博士前期	5	2	7	0	7
	博士後期	2	1	3	0	3
平成21年 (6期生)	博士前期	8	0	7	1	8
	博士後期	4	0	3	1	4
平成22年 (7期生)	博士前期	9	0	9	0	9
	博士後期	3	0	3	0	3
平成23年 (8期生)	博士前期	6	0	6	0	6
	博士後期	1	1	1	1	2
平成24年 (9期生)	博士前期	8	0	8	0	8
	博士後期	1	0	1	0	1
平成25年 (10期生)	博士前期	9	0	9	0	9
	博士後期	2	0	2	0	2
平成26年 (11期生)	博士前期	11	0	9	2	11
	博士後期	1	1	2	0	2
合計	博士前期	79	7	80	6	86
	博士後期	17	8	22	3	25

※平成21年度、22年度、24年度及び25年度は、大学院GPによる入学者を含む



別科助産専攻開設の趣旨

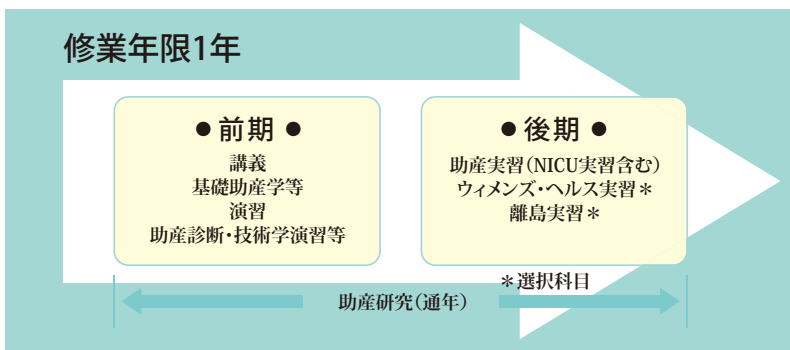
沖縄県の新生児死亡率や周産期死亡率、死産率は全国平均と比較して高率であることから、本島内に2カ所の周産期高度医療を担うセンターが開設され、母子医療の改善が図られている。しかし、マンパワー不足に起因する問題が発生している。それは産婦人科医師の不足による公立病院産科の閉鎖存続の危機、産科病院や診療所の助産師不足による助産および母子へのケア提供不足の状況である。さらに多くの有人離島を抱える本島では、離島妊産婦へも必要な母子保健医療の提供が求められている。

これまで、本県の産科施設では正常・異常に関わらず妊産管理は医師が中心的役割を担っていたが、産婦人科医師の不足により、今後は正常な妊産婦の保健管理・助産には助産師の主体的参加が期待されている。

教育目標

- ①沖縄県の抱える課題に応じ、母子の健康を守るとともに、現状を改善する能力を養う。
- ②ライフサイクル各期の女性に対し、母性保健の視点から健康の保持増進の援助ができる能力を養う。
- ③助産師として自律するとともに、他職種との連携やチームアプローチを通し、専門職業人として沖縄県の母子保健医療に貢献できる能力を養う。
- ④科学的根拠に基づいた助産ケアが提供できるよう自らを教育できる能力を養う。

カリキュラムの概要



国家試験(助産師)合格状況の推移			
実施年度	受験者(人)	合格者(人)	合格率
平成20年度	19	19	100.0
平成21年度	20	15	75.0
平成22年度	19	18	94.7
平成23年度	19	19	100.0
平成24年度	19	19	100.0
平成25年度	20	20	100.0
合計	116	110	94.8

平成25年度主な実習施設
アドベンチスト・メディカルセンター 医療法人がじゅまるの家 糸数病院 医療法人海秀会 上村病院 医療法人友愛会 豊見城中央病院 社会医療法人仁愛会 浦添総合病院 社会医療法人かりゆし会 ハートライフ病院 沖縄医療生活協働組合 沖縄協同病院 沖縄県立中部病院 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 沖縄赤十字病院 かみや母と子のクリニック 久米島町役場 公立久米島病院 当山産婦人科医院

主な就職先
沖縄県立病院 琉球大学医学部附属病院 那覇市立病院 沖縄赤十字病院 中頭病院 名城病院 アドベンチスト・メディカルセンター 豊見城中央病院 沖縄協同病院

在学生の声



別科助産専攻
渡口 紗都子

「助産師になりたい!!」と思ったきっかけは、私自身の出産です。陣痛中そばで勇気づけてくれ、おっぱいトラブルの時には親身になりケアしてくれた「あの助産師のように私もなりたい」と思い沖縄県立看護大学別科助産専攻に入学しました。前期は分娩介助や母乳育児支援等、講義と演習で助産の基礎を楽しく学び、8月からは3ヶ月間の助産実習に入りました。前期の学びを基に両親学級では妊婦さんに分娩教育を行い、実際に10例の分娩介助を行う中“ふたりの生命を守る”緊張感と生命誕生の瞬間に立ち会える助産師という職業に更に魅力を感じました。オンコール体制は大変でしたが、担当教員や実習スタッフの温かい励ましで乗り越えられました。1歳の息子の育児をしながらの学生生活ですが、息子の笑顔と家族に支えられ頑張る事ができています。2月に控えた助産師国家試験を乗り越え、いつか「あなたがいて良かった」と女性の力になれる助産師を目指し沖縄県の母子保健に貢献していきます。



平成26年度行事

4
APRIL

入学式
▶ 4月3日(木)

前期授業開始
▶ 4月7日(月)



入学式

5
MAY

渡嘉敷研修
▶ 5月10日(土)

開学記念
▶ 5月15日(木)



6
JUNE



オープンキャンパス



7
JULY

オープンキャンパス
▶ 7月26日(土)

8
AUGUST

夏季休業
▶ 8月18日(月)
～9月30日(火)

海外研修セミナー
(ハワイ)
▶ 8月17日(日)
～9月5日(金)



海外研修セミナー(ハワイ)

9
SEPTEMBER

大学院入試
▶ 9月6日(土)

第16回看大祭
▶ 9月13日(土)・14日(日)



看大祭

楽しいサークル みんなイキイキ キャンパスライフ!



美ら笑ば～

障害や病気をもつ子どもたちとその家族が遊びを通して多くの人とふれ合い、様々な体験をすることで喜びや楽しみを感じることができるよう支援しています。



学生ちゃんぷる～

私たちは、学生と教員みんなで仲良くなるをモットーに、映画鑑賞・学生と教員の交流会・調理実習・研修の企画(離島・県外)・学生ちゃんぷる～通信の発行等を行っています!



性・命の達人 キラリサークル

平成22年度から活動しています。妊娠・出産、性感染症、避妊、デートDVなどに関する展示物や体験コーナーを通して、近隣大学や中学校、離島など地域に情報発信するサークル活動を展開しています。



バドミントンサークル

皆でバドミントンをしながら交流を図ったり、ストレスを発散することを目的に活動しています。ほとんどが初心者なので気軽にご参加下さい。



テニスサークル

初心者も大歓迎!! 看護大学一番カッコイイ顧問。大学にテニスコートがないので、近くのコート借りて20人くらいで活動しています。



茶道サークル

週に何回か学内で活動しています。お茶の作法を学んだり、お茶を飲みながらみんなで楽しくお喋りしたりしています。まったりと活動しているので、気軽に覗きに來てください(^o^)

10
OCTOBER

後期授業開始
▶ 10月1日(水)

11
NOVEMBER

特別選抜入試
(看護学科)
▶ 11月15日(土)

推薦選抜・
社会人特別
選抜入試
(別科助産専攻)
▶ 11月15日(土)

12
DECEMBER

冬季休業
▶ 12月25日(木)
～1月7日(水)

1
JANUARY

大学入試
センター試験
▶ 平成27年
1月17日(土)・
18日(日)

2
FEBRUARY

一般選抜入試
(別科助産専攻)
▶ 2月12日(木)

一般選抜入試
(前期・看護学科)
▶ 2月25日(水)

3
MARCH

一般選抜入試
(後期・看護学科)
▶ 3月12日(木)

卒業式
▶ 3月15日(日)

春季休業
▶ 3月15日(日)
～3月31日(火)



卒業式



三味線サークル

週に1回、午後5時半から三味線の練習をしています。メンバーのほとんどが初心者から始めています
☆沖縄の文化に触れてみるいい機会ですよ♪



軽音楽サークル

音楽のジャンルにこだわらず楽しく活動をしています。それぞれが演奏したい楽器を持ち込んで自由にバンドを組んでいます。看大祭では毎年、ライブ演奏を行っています。



アジア保健医療研究会

主な活動内容は、世界で活躍している専門家による講演会の開催、海外で活躍した学生の報告会などを通して、国際保健医療に関する理解を深めます。



マラソンサークル

あやはしハーフマラソンや伊江島一周ハーフマラソン、那覇マラソンそしておきなわマラソンと一年を通してさまざまなマラソンにみんなで楽しく参加をしています。



野球・球技サークル

初心者から経験者まで大歓迎!!
月3回程度、奥武山サブグラウンドで練習や試合を行っています。
マネージャーもいますので男女関係なくご参加下さい。



スポーツ全般サークル

毎週火・金曜日の18～21時までの3時間、体育館でフットサル、バレー、バスケットボールを主な活動としています。先輩・後輩と仲良く毎回楽しく汗を流しています。

充実した教育と快適な学生生活をサポートする 恵まれた学習環境

体育館



アリーナや音響室を備えています。曲線を利用した建物は開放感にあふれ、陽光が館内にいっぱい差し込む明るい雰囲気の中で、授業や課外活動を十分に楽しむことができます。

附属図書館



◆蔵書構成 (2014年3月31日現在)

図書 の区分	図書・ 視聴覚資料 冊数(概数)	雑誌	
		日本語雑誌 種数 (紀要含む)	外国語雑誌 種数 (紀要含む)
一般教養	21,000	479	13
医学	15,800	323	70
看護	21,800	600	70
計	58,600	1,402	153

看護系資料の充実は県内随一。ノートパソコンの館内貸出をはじめ、個室・グループ学習室を提供し自主的学習能力を高めています。緑と光満つ庭園を望む環境は快適で明るく、利用したくなる図書館です。

開館は、平日 8 時 30 分～21 時、土日 11 時～19 時。

研究・福利棟



1 階には学内食堂、自治会室、クラブ室など学生のための各種施設があります。また、2・3 階は教員研究室となっていますが、通常の研究活動のほか、授業での不明な点や学生生活の相談を受けるなど、教員と学生がコミュニケーションを保つための大切な場所です。

教育管理棟



キャンパスの中核となる建物です。

事務部門や講義室、視聴覚室、各種実習・演習室、情報処理学習室、L1 教室などを設けています。とりわけ助産実習室のほか、各種の演習室を個別に設けるなど本学の特色を随所に見ることができます。

地域連携・国際交流

沖縄県立看護大学では「大学がやりたいこと」ではなく、「地域の人々が大学にやってもらいたいことは何か?」をもとに、地域貢献を推進しています。

主な事業として、「実習先との協働事業」、「卒業生・修了生、同窓会との協働事業」、「地域との協働事業」、「看護職者等ネットワーク推進事業」があります。そのうち、「地域との協働事業」における「与儀地域とのまちづくり協働事業」について、具体的な活動を紹介します。

「与儀地域とのまちづくり協働事業」は、与儀小学校区まちづくり協議会を中心に与儀地域と大学が協働し、まちづくりを行うことを目的としています。

“大学見学ツアー”へ招待



開学記念日に与儀地域住民や企業、関係機関等を本学に招待し、大学の機能や役割を知る機会をつくり、ネットワークの基礎づくりと、子どもたちのキャリア教育の可能性を探りました。

看大祭で地域理解



看大祭で「与儀地域の今昔」と「与儀小学校区まちづくり協議会活動」のポスターで、地域と協議会活動の理解の機会をつくりました。また、学生と住民の手作りによる氷ざんざん・大福もちを出店しました。

地域一斉清掃への参加



地域住民と一緒に身近な地域の清掃活動に定期的に参加し、ゆんたくしながらゴミ拾いを楽しみ、交流を深めています。

敬老会への参加



地域の敬老会にて、血圧測定を行い、楽しみ前の体調確認を行いました。学内で学んだ看護技術を実践しました。

ハワイ研修

沖縄県立看護大学では、開学3年目の平成13年から毎年夏休みを利用して、ハワイ大学マノア校及びカウアイ・コミュニティー・カレッジで3週間の研修を行っています。研修目的は、英会話によるコミュニケーション能力を高めること、ハワイの保健福祉事情を理解すること、異文化の人々と暮らしについて理解を深めることです。2013年度で研修は13回目を迎え、参加学生の満足度の高いプログラムになっています。



ハワイ研修に参加して 金城 真実

3週間のハワイ研修を通して、異文化交流・アメリカの医療制度・英語力の向上、他にも沖縄を見つめる機会になったり、人の温かさを感じる交流等多くの事を経験し、学びにする事が出来ました。以下に、日本と比較して印象に残ったことについて述べます。

まず病院の中に教会がある事です。教会の中には聖書や仏教の本、十字架が準備されている部屋があり、宗教をあまり重要視していない日本との違いを感じました。次に、アメリカの医療制度も印象的でした。日本には国民皆保険がある為、経済的に厳しい生活をしている人でも医療を受ける事ができますが、アメリカでは保険に入っていない人も多く、経済的理由で医療を受けられない人が居るという事に驚きました。高額な医療費になる為、短期間で高度な医療を提供する必要があり、その分看護師の技術もハイレベルなものでした。看護学生の授業でも、シミュレーターを用いて実践に近いアセスメント練習をしていました。

ハワイの方々が看護師という職業に誇りを持ち、良い医療を提供しようとする姿を見て、私もこんな看護師になりたいと思いました。日本の看護も素晴らしいと思いますが、視点の違う看護をみる事で、視野が広がり、今後の自分の看護師像として良い刺激になりました。

JICA 研修生受け入れ



平成25年度は6月と10月にJICA研修が本学で行われ、1回目はウルグアイ、エ

クアドル、パラグアイ、ブラジル、ペルー、ボリビアの中南米6カ国から11名の研修生を受け入れ、2回目はグアテマラ、ドミニカ共和国、ニカラグア、パナマ、ホンジュラス、ボリビアの中南米6カ国から11名の研修生を受け入れました。研修生は基礎実習室、スキルラボ室、図書館などの学内視察、母性保健看護・小児保健看護・島嶼における母子保健の講義・演習や学部生との交流を通して、沖縄における母子保健活動の現状や課題などを学んで帰られました。研修生それぞれが、沖縄県立看護大学での学びを本国へ持ち帰り、母子保健の問題点を分析し、課題解決へ向けて活用できるようにすることを意図しての研修プログラムです。本学では今後も、国際交流及び国際協力へ貢献できるよう充実した研修内容を提供し人材育成に寄与します。

スキルラボ室を活用しての看護実践力向上のための支援

スキルラボ室とは？

沖縄県立看護大学の3階にスキルラボ室という部屋があります。ここでは、学部学生、卒業生（新人1年目の看護師）が自己の看護実践力を高めるためにシミュレーターを活用しての参加型体験学習を行う場所です。

どんな学習やトレーニングを行うの？

学部の2年次では、ヘルスアセスメントの授業時にシミュレーターを活用して、呼吸の音やお腹の音（腸音）のさまざまな音を聴診器を用いて聴き、正常な音か異常な音なのかを聞き分ける練習をします。講義形式ではなく、実際に学生は参加型体験学習を通して「アッ、解った！」と腑に落ちることを大切に支援しています。

肺の音を聴取

ヒュー、ヒュー
という
笛みたいな
音が聞こえる！



お腹の音を確認中

グルグル
という腸音が
聴こえた！



学部の3年次では、病院実習に行く前に、病院で受け持つ患者さんを想定し、シミュレーターを活用して、患者への声かけ、問診、フィジカルアセスメント（体を観る技術）を実際に行います。教員から学生への一方向的な教育ではなく、学生が主体的に体験し、その後振り返りを通して、自己の行動を客観視し、その中から“気づき”が導かれるように支援しています。

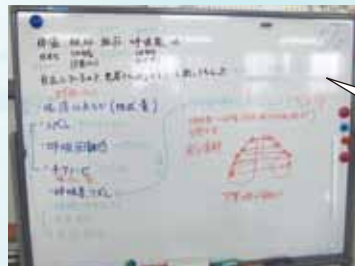
ディスカッション後に資料で確認

実際に
観察したことを
資料で
確認中…



観察したことを板書

学生間で
観察項目の
共有



卒業生（新人1年目の看護師）もスキルラボ室を活用して、病棟で活用することができるように看護実践力のさらなる向上を支援しています。

観察したことを話し合い、板書

看護師役の
人は何を観察して
いたかな!?



肺の音を確認中

肺の上葉で
ブツブツとした
クラックルが
聞こえる



実習施設一覧

学部 (82 施設)

医療機関

- 1 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター
- 2 沖縄県立中部病院
- 3 沖縄県立宮古病院
- 4 沖縄県立 八重山病院
- 5 沖縄県立 精和病院
- 6 地方独立行政法人 那覇市立病院
- 7 沖縄赤十字病院
- 8 公立 久米島病院
- 9 社会医療法人 敬愛会 中頭病院
- 10 社会医療法人 敬愛会 ちばなクリニック
- 11 医療法人 友愛会 豊見城中央病院
- 12 医療法人 卯の会 新垣病院
- 13 平安病院
- 14 助産院ていだ
- 15 沖縄病院
- 16 医療法人 がじまるの会 糸数病院
- 17 社会医療法人 かりゆし会 ハートライフ病院
- 18 社会医療法人 仁愛会 浦添総合病院
- 19 国立療養所 沖縄愛楽園

保健・福祉関連施設

- 20 社会福祉法人 うるま市社会福祉協議会
うるま市地域生活支援センターあいあい
- 21 医療法人社団 志誠会 社会復帰施設部門
- 22 特定非営利活動法人 ふれあいセンター
- 23 特定非営利活動法人 ワークサポートひかり
- 24 NPO 法人 ふいーるどばわー
- 25 那覇市小祿老人福祉センター
- 26 那覇市識名老人福祉センター
- 27 那覇市金城老人憩の家
- 28 那覇市末吉老人福祉センター
- 29 那覇市壺川老人福祉センター
- 30 浦添社会福祉協議会いきいき健康クラブ
- 31 那覇市安謝老人憩の家
- 32 グループホームたかまーみの家
- 33 医療法人 HSR 名嘉村クリニック 在宅ケアセンター
- 34 医療法人 HSR 名嘉村クリニック
ケアプラセンターいそ
- 35 若松 きたなかぐすく
- 36 訪問看護ステーションみやこ
- 37 財団法人 沖縄県総合保健協会
- 38 沖縄整肢療護園
- 39 沖縄小児発達センター
- 40 訪問看護ステーション はえばる
- 41 (有) 福祉ネットワーク・やえやまあかゆら
- 42 沖縄県立 中部福祉保健所
- 43 沖縄県立 南部福祉保健所
- 44 沖縄県立 宮古福祉保健所
- 45 沖縄県立 八重山福祉保健所
- 46 那覇市保健所

検診機関等

- 47 全国健康保険協会 沖縄支部
- 48 北部地区医師会病院 健康管理センター
- 49 中部地区医師会立 成人病検診センター
- 50 浦添総合病院 健診センター

市町村

- 51 うるま市役所
- 52 宜野座村
- 53 沖縄市役所
- 54 読谷村役場
- 55 嘉手納町役場
- 56 北中城村役場
- 57 那覇市役所
- 58 糸満市役所
- 59 豊見城市役所
- 60 八重瀬町保健センター

- 61 南城市役所
- 62 南風原町役場
- 63 久米島町役場
- 64 座間味村役場
- 65 渡名喜村役場
- 66 宮古島市役所
- 67 石垣市健康福祉センター
- 68 竹富町役場

保育所

- 69 那覇市立 若狭浦保育所
- 70 那覇市立 久場保育所
- 71 那覇市立 与儀保育所
- 72 那覇市立 大道保育所
- 73 那覇市立 宇栄原保育所
- 74 社会福祉法人 報徳福祉会 童の城保育園
- 75 社会福祉法人 報徳福祉会 石嶺保育園
- 76 社会福祉法人 郵住協福祉会 あじゃ保育園
- 77 社会福祉法人 那覇垣花福祉会 鏡原保育園
- 78 風のうた保育園
- 79 社会福祉法人 養秀福祉会 琴の音保育園
- 80 社会福祉法人 玉重福祉会 第2 愛心保育園
- 81 さくら保育園

教育機関

- 82 沖縄県立泡瀬特別支援学校

大学院 (32 施設)

医療機関

- 1 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター
- 2 沖縄県立 中部病院
- 3 沖縄県立 北部病院
- 4 沖縄県立 宮古病院
- 5 沖縄県立八重山病院
- 6 沖縄赤十字病院
- 7 医療法人卯の会 新垣病院
- 8 医療法人 がじまるの会 糸数病院
- 9 かみや母と子のクリニック
- 10 沖縄県助産師会 母子未来センター
- 11 医療法人 わらべの会 わんぱくクリニック
- 12 よしもとこどもクリニック
- 13 沖縄県看護協会 訪問看護ステーション うりずん
- 14 茨城県厚生農業協同組合連合会 土浦協同病院

市役所

- 15 伊是名村地域包括支援センター
- 16 竹富町 波照間保健指導所
- 17 竹富町 大富保健相談所
- 18 石垣市 健康福祉センター
- 19 宮古島市 平良保健センター
- 20 宮古島市 下地保健センター
- 21 多良間村役場
- 22 うるま市健康福祉センター
- 23 浦添市役所
- 24 久米島町役場

保健・福祉施設

- 25 りゅうしん指定訪問介護ステーション
- 26 NPO 法人 かなさの会 デイサービスセンター かなさ
- 27 多良間村社会福祉協議会 高齢者福祉センター・萌木の里
- 28 特別養護老人ホーム チヂン園
- 29 (株) ケアネット徳洲会沖縄
- 30 NPO 法人 すこやかネットグループホーム若葉 わかば
自立支援センター
- 31 地域支援ホーム 津堅いこいの家
- 32 沖縄小児発達センター

- 平成 11 年度
 < 4 月 > 沖縄県立看護大学開学
 < 6 月 > 沖縄県立看護大学 後援会設立総会開催
 < 7 月 > 開学記念式典・祝賀会・記念講演を開催
 < 11 月 > 第 1 回キャンパスフェアを開始
 (平成 12 年度に「看大祭」に改称・以後毎年開催)
- 平成 12 年度
 < 8 月 > 第 1 回オープンキャンパス開催(以後毎年開催)
- 平成 13 年度
 < 7 月 > ハワイ大学との学術交流協定締結
 < 7 月 > 第 1 回海外研修セミナー ハワイ 2001 実施
 (3 週間・以後毎年実施)
 < 10 月 > 第 1 回公開講座開始(平成 14 年 2 月以後毎年開催)
- 平成 14 年度
 < 3 月 > 第 1 回卒業式
- 平成 16 年度
 < 4 月 > 沖縄県立看護大学大学院 博士前期
 課程・博士後期課程開設
- 平成 17 年度
 < 3 月 > 第 1 回大学院修了式 博士前期課程
 第 1 期生修了
- 平成 18 年度
 < 3 月 > 大学機関別認証評価において基準を満たしていると
 認定される
- 平成 20 年度
 < 4 月 > 沖縄県立看護大学 別科 助産専攻 開設
 < 9 月 > 文部科学省助成「島嶼環境を活かして学ぶ
 保健看護の教育実践」・「島嶼看護の高度実
 践指導者の育成」採択
 < 10 月 > 開学 10 周年記念式典・祝賀会・記念
 講演を開催
 < 3 月 > 第 1 回別科助産専攻修了式
- 平成 21 年度
 < 7 月 > 沖縄県立看護大学同窓会統合記念総会
 < 9 月 > 文部科学省助成「看護系大学から発信するケアリ
 ング・アイランド九州沖縄構想」採択
- 平成 22 年度
 < 9 月 > 台北医学大学との学術交流協定締結
 < 2 月 > 専門看護師教育課程の認定
 (精神看護、老年看護、がん看護、慢性看護)
- 平成 23 年度
 < 10 月 > 文部科学省助成「専門的看護師・薬剤師等医療人材
 養成事業」採択
 < 11 月 > 「島しょ・へき地の看護職者の人材養成・人材確保
 事業」採択
- 平成 24 年度
 < 9 月 > 文部科学省助成「多価値尊重社会の実現に寄与する
 学生を養成する教育共同体の構築」採択(連携大学)
- 平成 25 年度
 < 3 月 > 専門看護師教育課程の認定(小児看護)
 < 3 月 > 大学機関別認証評価(2 回目)を受け、大学評価基
 準を満たしていると評価を得た
 < 3 月 > 大学機関別選抜評価(1 回目)
 「選抜評価事項 A 研究活動の状況」において、目的
 の達成状況がおおむね良好である、「選抜評価事項
 B 地域貢献活動の状況」において、目的の達成状
 況が良好であると評価を得た。

【看護学部】

●教養科目

保健医療情報

※教授 金城 芳秀

外国語

講師 山城 綾子

●専門教養科目

人体構造・機能学系

※教授 安谷屋 均

保健医療学系

※教授 新城 正紀

保健社会学系

※准教授 渡久山 朝裕

●専門科目

基礎看護

※学部長兼教授 嘉手苺 英子

※教授 宮城 恵子

(保健看護管理)

講師 金城 忍

※講師 宮里 智子

助手 伊良波 理絵

助手 金城 里奈

小児保健看護

※教授 永島すみみ

※准教授 小池 秀子

※講師 上原 和代

助 教 山本 真充

助 手 宮里 暁乃

母性保健看護・助産

※教授 玉城 清子

講師 賀数 いづみ

講師 井上 松代

助 教 西平 朋子

助 手 下中 壽美

助 手 嘉陽田 友香

成人保健看護

※図書館長兼教授 神里みどり

※准教授 仲宗根 洋子

※講師 赤嶺 伊都子

※講師 謝花 小百合

助 教 宮城 裕子

助 手 永野 佳世

助 手 荻堂 亜梨沙

老年保健看護

※学生部長兼教授 大湾 明美

※准教授 佐久川 政吉

※講師 田場 由紀

助 教 山口 初代

精神保健看護

※講師 大川 嶺子

助 教 丸山 義浩

助 教 大島 泰子

地域保健看護・国際保健看護・島しょ保健看護

※教授 川崎 道子

※講師 牧内 忍

講師 長堀 智香子

助 教 糸数 仁美

助 教 與座 千代子

【別科 助産専攻】

教授 峰岸 まや子

講師 中原 芳子

講師 大城 すぎの

※は大学院兼務の教員

(平成 26 年 4 月現在)

平成27年度 学生募集要項について

1. 学生募集要項の配付時期について

- (1)学部「特別選抜学生募集要項」 平成26年 8月下旬(公表後)
- (2)学部「一般選抜学生募集要項」 平成26年 9月下旬(公表後)
- (3)大学院「学生募集要項(博士前期・後期)」 平成26年 6月下旬(公表後)
- (4)別科助産専攻「学生募集要項(推薦選抜・社会人特別選抜)」 平成26年 8月下旬(公表後)
- (5)別科助産専攻「学生募集要項(一般選抜)」 平成26年 9月下旬(公表後)

2. 学生募集要項の請求方法について

各募集要項は下記により配付します。

【1】大学のホームページから請求する場合

大学のホームページから直接、テレメールによる資料請求ができます。

詳しくは、沖縄県立看護大学ホームページ (<http://www.okinawa-nurs.ac.jp/>) をご覧ください。

【2】テレメールで請求する場合

- ①下記番号に電話し、音声ガイダンスに従うこと。



IP電話 050-8601-0101
(24時間受付)
※IP電話：一般電話回線からの通話料金は日本全国どこからでも3分毎に約12円です。

- ②本学の資料番号

- (ア) 568200 (大学案内)
- (イ) 568220 (入学者選抜要項)
- (ウ) 588200 (募集要項(一般選抜))
- (エ) 588210 (募集要項(特別選抜))
- (オ) 548300 (大学案内・募集要項(一般選抜))

【3】インターネットや

携帯電話で請求する場合

- ①【<http://telemail.jp/>】
- ②携帯用請求バーコード
※対応する携帯電話で読み取れます。



【4】郵便局で「学生募集要項」を請求する場合 (10月より案内開始)

10月より郵便局に設置される「国公立大学・短期大学及び通信教育課程、大学校募集要項(願書)請求申込書」(郵便局用願書請求カタログ)に必要な事項を記入の上、送料と払込手数料130円を添えて最寄りの郵便局に申し込むこと。

受付から1週間程度で送付されます。

前記(1)(2)(3)(4)の請求方法についての問い合わせ先

テレメールカスタマーセンター

TEL 050-8601-0102 (9:30～18:00)

【5】本学へ郵送により「学生募集要項」等を請求する場合

- ①封筒の表に請求する募集要項の名称(上記1参照)を朱書すること。
- ②返信用封筒(角型2号・33cm×24cm)を同封すること。
なお、返信用封筒には、あて先(請求者の郵便番号、住所、氏名)を明記し、250円切手(速達希望者の場合は530円切手)を貼付すること。

※一度ご利用になられた暗証番号(4桁)は送料をお支払いいただく際に必要になりますので必ず控えておいて下さい。また繰り返しテレメールをご利用いただく際にも便利です。

資料は受付から2,3日で送付されます。ただし、郵送開始日までのご請求は予約受付となり、郵送開始日になりましたら一斉に郵送します。送料は、お届けした資料に同封の支払方法に従ってお支払い下さい。

※電話によるご請求の場合、住所、名前の登録時は、ゆっくりはっきりとお話し下さい。登録された音声不鮮明な場合は到着まで時間がかかる場合があります。

前記【1】【2】【3】【4】の請求方法についての問い合わせ先

テレメールカスタマーセンター／TEL 050-8601-0102 (9:30～18:00)